kitagawa

第108期 株主通信

平成29年4月1日～平成30年3月31日

金属素形材事業
（キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー）

産業機械事業
（キタガワ サン テック カンパニー）

工作機器事業
（キタガワ グローバル ハンド カンパニー）

証券コード:6317

株式会社北川鉄工所
http://www.kiw.co.jp/

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より、格別のご支援を賜わり、有難く厚くお礼申しあげます。

当社グループは平成30年3月31日をもちまして第108期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）が終了いたしましたので、当連結会計年度の事業概況についてご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や設備投資の持ち直し、雇用環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では米国の政策動向や北朝鮮情勢などの地政学的リスクが依然として継続し、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、品質の向上、生産効率の向上に継続して取り組み、国内及び海外の生産拠点の収益改善や生産設備増強など事業基盤の確立に向けグループを挙げて取り組んでまいりました。

金属素形材事業関連では、主力である自動車トランスミッション部品及び建設・農業機械向け部品が堅調に推移しました。産業機械事業関連では、建設投資が引き続き好調に推移し、荷役機械関連設備が伸長しましたが、自走式立体駐車場の大型案件の工事件数が前期に比べて減少しました。工作機器事業関連では、工作機械業界の受注拡大

経営成績の概要

（単位：百万円）

	第107期	第108期	増減
売上高	**55,421**	**56,051**	**630**
セグメント内訳			
金属素形材	23,425	26,699	3,274
産業機械	21,408	16,906	△4,502
工作機器	10,588	12,445	1,857
営業利益	**4,255**	**4,484**	**229**
セグメント内訳			
金属素形材	1,720	1,805	85
産業機械	3,268	2,508	△760
工作機器	1,974	2,917	943
全社費用	△2,708	△2,747	△39
経常利益	**4,312**	**5,152**	**840**
親会社株主に帰属する当期純利益	**2,041**	**3,492**	**1,451**

注　当期経常利益の増減要因は、当期営業外損益に外貨建資産の為替資産の為替差益79百万円（前期比402百万円改善）を計上したことによります。

基調を受け、国内外ともに需要が増加し好調に推移しました。

当期の配当につきましては、創業100周年を迎えることができ、これまでご支援いただきました株主様への感謝の意を表し、普通配当70円に記念配当7円を加えて、1株当たり77円とさせていただきます。

次期の見通しにつきましては、国内の経済状況は、経済政策等の各種政策の効果により、堅調な雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費の拡大や企業の設備投資の継続などを背景に景気は緩やかな改善が続くものと予測されます。しかしながら、海外では米国の政策動向や北朝鮮情勢などの地政学的リスクが継続し、依然として先行きの不透明な状況が続くと思われます。

このような状況の中、4月よりカンパニー制を導入し、各カンパニーの成長、経営人材の育成、事業執行機能への権限委譲による事業環境変化への対応力と顧客価値創造力の向上を目指します。

また、当社グループの海外生産拠点及び国内工場の生産効率や品質の改善を行い生産性の向上に努め、計画利益の確保に努めてまいります。

従いまして、次期(平成31年3月期)の業績予想につきましては、売上高は60,000百万円、経常利益は5,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,600百万円を見込んでおります。

株主のみなさまには引続きご理解とご支援を賜わりますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申しあげます。

平成30年6月

代表取締役会長兼社長　北川祐治

トピックス①

社内カンパニー制へ移行

近年、自動運転、AI、IoTなど様々な変化が劇的なスピードで訪れようとしています。こうした時代の変化にも柔軟に対応し、キタガワの持つ力を発揮するため、当社は2018年４月から事業部制からカンパニー制へ移行しました。カンパニー制へ移行することによって、各カンパニーの成長、経営人材の育成、事業執行機能への権限委譲による事業環境変化への対応力と顧客価値創造力の向上を目指してまいります。

～新たに誕生した３つのカンパニーのメッセージ～

カンパニー社長　北川　宏

■キタガワ　マテリアル　テクノロジー　カンパニー
（金属素形材事業）

カンパニー名に鋳造を表すキャスティングではなく、「マテリアル」という言葉を選んだ理由は、将来的により広い素材・材料の分野へと拡大し成長していくことを期待しているからです。「テクノロジー」には、コア技術は鋳造で変わりませんが、更に機械加工、あるいは部品の設計、そしてユニットの開発などを獲得できるようなカンパニーを目指したいという思いを込めています。当カンパニーでは素材開発をベースとして、付加価値をお客様に提供することを目指してまいります。

カンパニー社長　栗本和昌

■キタガワ　サン　テック　カンパニー
（産業機械事業）

コンクリートプラント、タワークレーン、環境関連設備、自走式立体駐車場といった小さな分野のニッチな産業ではありますが、それぞれの分野で技術を誇り、それぞれの業界でトップシェアを競うブランド力の高いメーカーです。これから新たな道を進み、さらに技術を深めて、お客様にしっかり寄り添って業界をリードすることを目指してまいります。

カンパニー社長　藤本　一

■キタガワ　グローバル　ハンド　カンパニー
（工作機器事業）

カンパニー事業ビジョンは“with HANDS, with SURPRISE!”と設定しました。我々の商品を手に取ってお使いいただくとサプライズが起こる、面白いことが出来る、いろいろな加工ができる、そういった思いを込めてビジョンを設定しました。お使いいただくお客様にそう感じていただけるようなものづくりをしてまいりたいと思います。

セグメント別の概況

金属素形材事業
(キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー)

単位：百万円

	第107期	第108期	対比
売 上 高	23,425	26,699	14.0%増
営業利益	1,720	1,805	5.0%増

自動車関連業界につきましては、世界の新車販売台数(平成29年1月～12月)は、前年比2.4%増の9,531万台となり、8年連続で過去最高を更新しました。当事業におきましても、主力である自動車トランスミッション部品は国内外ともに生産が堅調に推移しました。また、建設・農業関連業界につきましては、国内市場では建設・農業機械ともに排ガス規制強化後の販売低迷から回復に転じました。欧米市場では、インフラやエネルギー関連などを中心に工事が増加し、建設機械や小型トラクタ、エンジンが総じて好調に推移しました。中国市場においても、建設機械や田植機、エンジンは大幅に需要増加となりました。

このような状況の中、既存顧客の海外展開への対応を含めた顧客の部品需要に対する当社シェアの拡大と当社の強みである素材と加工の一貫生産を活かした高付加価値製品の新規受注活動に注力してまいりました。また、原材料価格の上昇分の販売価格への転嫁の遅れから利益率は減少しておりますが、生産性の向上、不良の低減、歩留り改善による生産効率の改善や調達コストの削減により、収益性の改善を継続してまいりました。併せて国内では、生産拠点である福山工場に加工棟を新設、メキシコ子会社では、鋳造2次ラインを新設し量産開始の準備を進め、タイ子会社では、鋳造2次ラインを本格的に稼働させました。

事業内容

生型鋳造・ロストワックス精密鋳造・エバフォーム鋳造・MIM焼結品及び鋳物素材をベースとした機械加工品および組立完成品(自動車部品、各種機械部品)

セグメント別の概況

産業機械事業
（キタガワ サン テック カンパニー）

単位：百万円

	第107期	第108期	対比
売 上 高	21,408	16,906	21.0%減
営業利益	3,268	2,508	23.2%減

国内の建設関連業界においては、首都圏を中心に平成29年度（平成29年４月～平成30年３月）の公共及び民間の建設投資は53兆円になる見通しであり、好調に推移しました。一方、国土交通省の建設労働需給調査によると、鉄筋工をはじめとする建設技能労働者が不足傾向となっており、慢性的な労務費の高騰や工期遅れなどが続きました。

当事業におきましては、コンクリートプラント及び関連設備では、既存設備の建替え工事や改造工事、またメンテナンス関係の需要が堅調に推移しました。荷役機械関連設備では、首都圏を中心に大型建築向け大型クレーンに加えて集合住宅向け小型クレーンの需要が増加しました。環境関連機器では、造粒固化処理設備とバイオマスに注力してまいりました。自走式立体駐車場では、前期比では大型案件の工事件数は減少しました。

このような状況の中、業務効率改善活動に取り組み、生産効率の向上、継続した経費削減を行うなど収益性の向上に努めてまいりました。

▲環境プラント

▲ビル建設用タワークレーン

事業内容

コンクリートプラント、コンクリートミキサ（商品名：ジクロス等）、環境関連設備（商品名：ペレガイア等）、リサイクルプラント、建築用ジブクレーン（商品名：ビルマン）、自走式立体駐車場（商品名：アスペル）

工作機器事業

（キタガワ グローバル ハンド カンパニー）

単位：百万円

	第107期	第108期	対比
売 上 高	10,588	12,445	17.5%増
営業利益	1,974	2,917	47.7%増

一般社団法人日本工作機械工業会の発表によりますと、平成29年度（平成29年４月～平成30年３月）の工作機械受注総額は １兆7,803億円（前期比38.1％増）となり、過去最高の受注総額となりました。内需は6,879億円（前期比 29.4％増）、外需は １兆923億円（前期比 44.2％増）となり、受注額は内外需ともに前期比で大幅に上回り、好調に推移しました。

当事業におきましては、工作機械業界の活況を受け、国内、海外ともに受注状況は好調に推移し、受注額は前期比増となりました。国内市場では、補助金などの政策効果もあり、工作機械メーカー向け、一般ユーザー向けともに好調に推移し、特に一般ユーザーからの受注が伸びました。中国市場では、EMS(電子機器受託生産サービス）向けの受注は12月に入り一服感が見られましたが、一般機械や自動車向けが好調に推移しました。また北米、欧州、インドなどの各市場も好調に推移したため、需要が増加しました。

このような状況の中、工作機器業界全体での受注の高まりに対応するため、生産設備の追加導入や稼動改善、生産要員の確保及び主要部品の確保に努めました。また、商品開発体制を整備し、顧客個別商品（カスタマイズ商品）の受注から得られたニーズを基に商品開発へ取り組んでまいりました。昨年10月に開催されたメカトロテックジャパン2017、本年１月に開催された第２回ロボデックスロボット開発・活用展へ出展した商品の販売を拡大し、受注増加に努めてまいりました。

デザインチャック

NC円テーブル

グリッパ

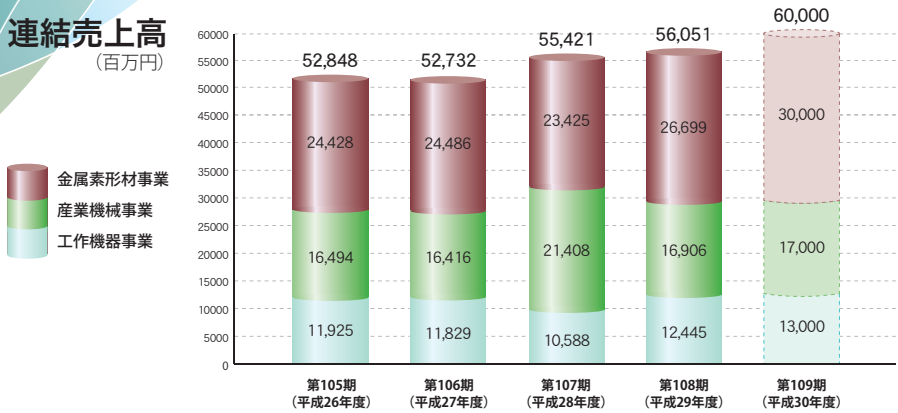
事業内容

旋盤用チャック、油圧回転シリンダ、NC円テーブル、パワーバイス、ワークグリッパ、グリッパ（商品名：Promano）、特殊工作機械

連結決算の概要

連結売上高

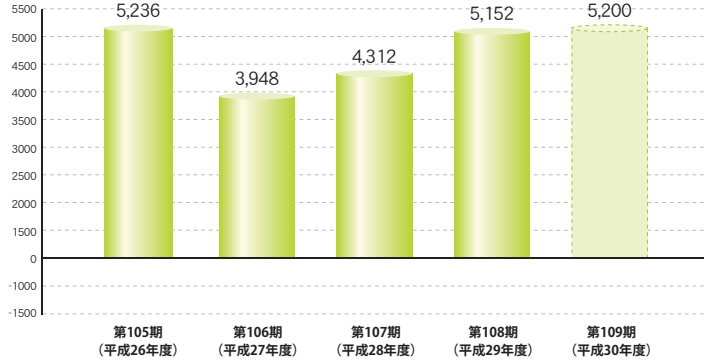
（百万円）



※第109期は予想値

連結経常利益

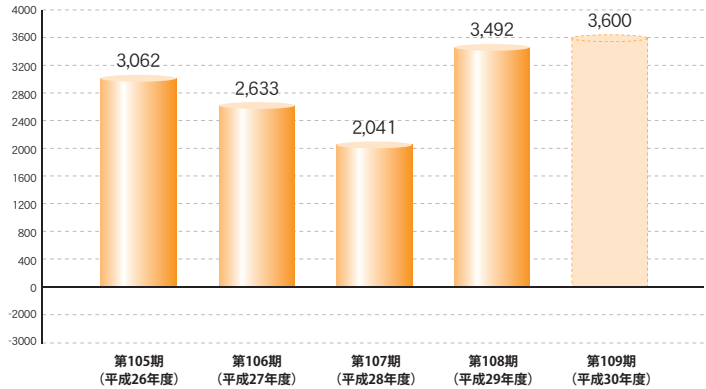
（百万円）



※第109期は予想値

連結当期純利益

（百万円）



※第109期は予想値

連結貸借対照表

区　分	前連結会計年度（平成29年3月31日） 金　額（百万円）	構成比（%）	当連結会計年度（平成30年3月31日） 金　額（百万円）	構成比（%）
（資産の部）				
流動資産	36,398	53.4	36,505	51.0
固定資産	31,699	46.6	35,142	49.0
有形固定資産	25,434		28,248	
無形固定資産	485		493	
投資その他の資産	5,780		6,401	
資産合計	68,098	100.0	71,648	100.0

区　分	前連結会計年度（平成29年3月31日） 金　額（百万円）	構成比（%）	当連結会計年度（平成30年3月31日） 金　額（百万円）	構成比（%）
（負債の部）				
流動負債	22,028	32.4	22,833	31.9
固定負債	13,155	19.3	12,641	17.6
負債合計	35,184	51.7	35,475	49.5
（純資産の部）				
株主資本	29,677	43.6	32,296	45.1
その他包括利益累計額	2,076	3.0	2,538	3.5
非支配株主持分	1,159	1.7	1,339	1.9
純資産合計	32,913	48.3	36,173	50.5
負債純資産合計	68,098	100.0	71,648	100.0

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

区　　分	前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日） 金額（百万円）	百分比（%）	当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日） 金額（百万円）	百分比（%）
売上高	55,421	100.0	56,051	100.0
売上総利益	10,654	19.2	10,944	19.5
営業利益	4,255	7.7	4,484	8.0
経常利益	4,312	7.8	5,152	9.2
税金等調整前当期純利益	3,517	6.3	5,014	9.0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,041	3.7	3,492	6.2

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約版）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	当連結会計年度 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,627	7,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,305	△5,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,746	△2,060
現金及び現金同等物に係る換算差額	286	△16
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	862	450
現金及び現金同等物の期首残高	8,663	9,526
現金及び現金同等物の期末残高	9,526	9,977

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概況（平成30年3月31日現在）

設　　立	昭和16年11月28日
資 本 金	86億4千万円
従業員数	1,323名

Network

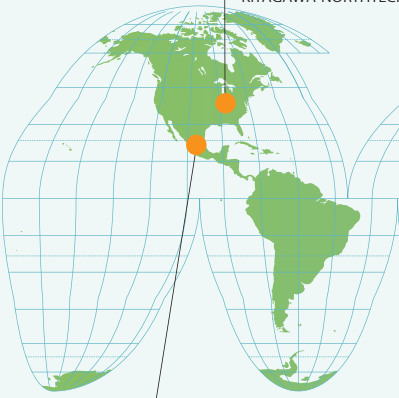
海外関係会社

KITAGAWA MEXICO,S.A.DE C.V.
KITAGAWA (THAILAND) CO.,LTD.
北川（瀋陽）工業機械製造有限公司
上海北川鉄社貿易有限公司
KITAGAWA-NORTHTECH INC.
KITAGAWA EUROPE LTD.

KITAGAWA-NORTHTECH INC.

KITAGAWA EUROPE LTD.

北川（瀋陽）工業機械製造有限公司



KITAGAWA MEXICO,S.A.DE C.V.

KITAGAWA (THAILAND) CO.,LTD.

上海北川鉄社貿易有限公司

役員（平成30年6月22日現在）

代表取締役会長兼社長	北川　祐治	取締役（独立役員）	沼田　　治
代表取締役副会長	北川　　宏	取締役（独立役員）	藤井　一裕
取締役　常務執行役員	北川日出夫	常勤監査役（独立役員）	河村　光二
取締役　執行役員	佐藤　　靖	監査役	内田　雅敏
取締役　執行役員	畑島　敏勝	監査役	貝原　潤司
取締役　執行役員	宇田　育造		
取締役　執行役員	栗本　和昌		

会計監査人　有限責任あずさ監査法人

（注）1 取締役沼田治、藤井一裕は社外取締役であります。
2 監査役河村光二、内田雅敏、貝原潤司は社外監査役であります。

国内関係会社

北川冷機株式会社
株式会社吉舎鉄工所
株式会社北川製作所

工場

本社工場　福山工場
本山工場　甲山工場
下川辺工場　東京工場
中須工場　和歌山工場

支店

仙台支店　大阪支店
東京事業所　広島支店
東京支店　九州支店
名古屋支店

営業所

札幌営業所
新潟営業所
四国営業所
沖縄営業所

本社・本社工場
Head Office・Main Plant

福山工場
Fukuyama Plant

東京工場　Tokyo Plant
東京支店
Tokyo Branch Office

東京事業所
Tokyo Office

大阪支店
Osaka Branch Office

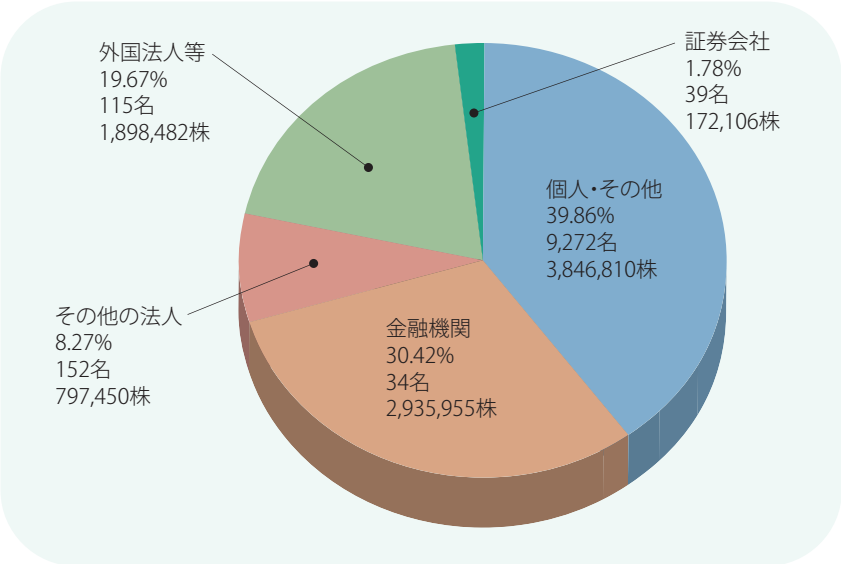
和歌山工場
Wakayama Plant

名古屋支店
Nagoya Branch Office

株式の状況（平成30年3月31日現在）

発行可能株式総数	普通株式	30,800,000株
発行済株式の総数	普通株式	9,650,803株
株主数		9,612名

株式分布



大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	584	6.24
北川鉄工所みのり会	510	5.45
株式会社広島銀行	446	4.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	376	4.02
GOVERNMENT OF NORWAY （常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店）	230	2.46
みずほ信託銀行株式会社	230	2.46
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO （常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店）	195	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口 5）	183	1.96
北川鉄工所自社株投資会	176	1.88
朝日生命保険相互会社	171	1.83

＊持株比率は自己株式（284,739株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から毎年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当基準日	3月31日
単元株式数	100株
単元未満株式の買取及び買増	単元未満株式（1株～99株まで）の買取及び買増のご請求は下記のお取扱店でお取扱いいたします。単元未満株式を証券会社の口座に振替えられた株主様はお取引の証券会社にて取扱いいたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	ホームページに電子公告しますが、やむを得ない事由によって電子公告出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。 アドレス　http://www.kiw.co.jp/

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
電話お問い合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324 （土・日・祝日を除く9：00～17：00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更）		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店（※） （※）トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

トピックス ②

創業100周年記念式典を開催しました

当社は株主のみなさまのお力添えにより、2018年3月をもちまして創業100周年を迎えることとなりました。これを記念して、本年3月16日に創業100周年記念式典を府中市文化センター大ホールにて開催し、約1,200名の社員が一同に会しました。

キタガワの歴史は、1918年に創業者北川実夫の父・条一が北川船具製作所を創業し、木製滑車の生産を始めたことから始まりました。その後滑車づくりに必要なベアリングの自社生産の決断をしたことがきっかけで木工業から鉄工業へと大きく舵を切り、1941年に株式会社北川鉄工所を設立し、現在まで発展してまいりました。

当社の企業ビジョンである「お客様第一主義」、「素直な心と勇気」、「社員満足」、「イノベーション」の4つの価値観を事業経営の礎としつつ、次の100年を成長と挑戦の年と捉え、新たな心持ちで再スタートいたします。変化の激しい環境下においても、新たな目標の達成に向かって、闘志を持って、社業の発展に努めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

社会貢献活動

当社では日頃地域の方々へお世話になっている感謝の気持ちを込めて、毎年継続して社会貢献活動を行っています。

昨年度も全国の事業所・工場の社員が37チームに分かれ、地域の清掃、住宅街の歩道や森林公園内の湖畔への植樹など、様々な形で社会貢献活動を実施しました。

2018年3月をもちまして創業100周年を迎えることができましたが、今後も地域・社会とともに継続して発展していくため、同様の取り組みに継続して取り組んでまいります。

上段：丸亀城及び亀山公園周辺の清掃（香川県丸亀市）
中断：市内の広場、学校周辺の清掃（広島県府中市）
下段：街路樹の植樹（広島県府中市）

おかげさまで
創業100年

100

Since 1918

株式会社北川鉄工所
Kitagawa Corporation

〒726-8610　広島県府中市元町77ー1
77-1, Motomachi, Fuchu-shi, Hiroshima, 726-8610 Japan
Tel.(0847)45-4560(代)　Fax.(0847)45-0589

■営業拠点

仙　台	仙台市若林区大和町4-15-13	〒984-0042	Tel.(022)232-6732(代)	Fax.(022)232-6739
東　京	さいたま市北区吉野町1-405-1	〒331-9634	Tel.(048)666-5650(代)	Fax.(048)663-4678
	東京都台東区元浅草2-6-6　東京日産台東ビル8階	〒111-0041	Tel.(03)3844-7101(代)	Fax.(03)3844-7134
名古屋	名古屋市中川区上高畑2-62	〒454-0873	Tel.(052)363-0371(代)	Fax.(052)362-0690
大　阪	大阪市住之江区北加賀屋3-2-9	〒559-0011	Tel.(06)6685-9065(代)	Fax.(06)6684-2025
広　島	広島市南区東雲本町2-13-21	〒734-0023	Tel.(082)283-5133(代)	Fax.(082)285-8830
九　州	福岡市博多区板付7-6-39	〒812-0888	Tel.(092)501-2102(代)	Fax.(092)501-2103

インターネット上で、いつでも最新のキタガワ情報をご覧いただけます　**http:// www.kiw.co.jp /**